

●4月9日(水)～5月25日(日)  
「にいがたの花展 シャクナゲ・ツツジ」  
●5月28日(水)～7月13日(日)  
「アジサイ展」

●4月1日(火)～4月20日(日)  
「和紙ちぎり絵展」  
出展:中村澄子和紙ちぎり絵教室  
●4月22日(火)～5月6日(火・振)  
「伝統てまりと新作てまり」  
出展:栃尾てまりの会  
●5月8日(木)～5月25日(日)  
「ボタニカルアート展」  
出展:下越ボタニカルアート同好会  
●6月10日(火)～6月29日(日)  
「植物で描く押花額絵」  
出展:森のアトリエ

●5月20日(火)～5月25日(日)  
「クレマチス展」  
出展:鈴木光一(日本クレマチス協会)  
●5月28日(水)～6月8日(日)  
「サツキ展」  
出展:上田盛樹園

### 春の植物園まつり

5月3日(土・祝)～5月6日(火・振)9:30～16:00

★4日間は観賞温室の入館料がどなたでも無料!

- バックヤードツアー ●植物素材を使った工作教室
  - 寄せ植え教室 ●園芸相談 ●古本市 ●物販(植物・食品) など
- ※詳しいイベントスケジュールは4月下旬に  
当園ホームページに掲載予定です。

### 第5回フラワースタンプラリー

4月19日(土)～6月22日(日)

長岡・見附・新潟エリアを結ぶスタンプラリーが開催されます。  
国営越後丘陵公園、長岡市緑花センター花テラス、みつけイングリッシュガーデン、県立植物園のほか、周辺施設を含めた計25施設が協賛する大企画です。各施設に設置されているスタンプを集めて商品がゲット!スタンプ台紙は参加施設で配布しています。詳しくは当園ホームページをご覧ください。

#### 新津エリアの参加施設

県立植物園、新津美術館、フラワーランド、うららこすど、花夢里にいつ、新潟県埋蔵文化財センター、弥生の丘展示館

### ●観賞温室利用案内

開館/9:30～16:30(入館締切16:00)  
入館料/大人600円、シルバー(65歳以上)500円、高校生・学生300円(要学生証提示)  
小中学生100円 ※土日祝日は小中学生の入館料無料

### ●観賞温室開館カレンダー(●休館日)

4							5							6						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
・	・	1	2	3	4	5	・	・	・	・	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
27	28	29	30	・	・	・	25	26	27	28	29	30	31	29	30	・	・	・	・	・

### ●交通アクセス ※駐車場無料(350台収容)

高速道路/磐越自動車道新津ICから国道403号三条・加茂方面へ約15分  
一般道路/(新潟方面から)国道49号茅野山ICから国道403号経由約20分  
JR/信越線古津駅から徒歩約25分  
バス/区バス:新津駅東口から「うららこすど」行き「美術館・植物園前」下車徒歩約1分  
新潟交通:新津駅東口から「矢代田経由白根・湯東営業所」行き「新津美術館入口」下車徒歩約10分

- 4月10日(木)10:00～11:30 「植物園花散歩①ツツジ」  
講師:倉重祐二(当園副園長)/定員:15名/参加費:500円
- 5月8日(木)10:00～11:30 「植物園花散歩②ポタン」  
講師:田中良明(当園職員 樹木医)/定員:15名/参加費:300円
- 5月11日(日)10:00～11:30 「親子教室 母の日アレンジメント」  
講師:植物園友の会/定員:親子15組/参加費:1,500円
- 5月11日(日)13:30～15:00 「植物学講座①」  
講師:植物園友の会/定員:15名/参加費:300円
- 5月18日(日)13:30～15:30 「お散歩カメラ」  
講師:パソコンサブリ 小林由美/定員:10名/参加費:1,000円
- 5月25日(日)13:30～15:00 「クレマチス」  
講師:鈴木光一(日本クレマチス協会)/定員:15名/参加費:500円
- 6月8日(日)13:30～15:00 「植物色図鑑～染め・漉き・豆盆栽」  
豆盆栽と、その下に敷くマット(2枚)をつくります。  
講師:星名康弘・田中雄二・高橋星児/定員:20名/参加費:2,300円
- 6月8日(日)13:30～15:00 「植物学講座②」  
講師:植物園友の会/定員:15名/参加費:300円
- 6月12日(木)10:00～11:30 「植物園花散歩③」  
講師:久原泰雅(当園職員)/定員:15名/参加費:300円
- 6月15日(日)10:00～11:30 「マツの剪定」  
講師:田中良明(当園職員 樹木医)/定員:15名/参加費:300円
- 6月15日(日)10:00～11:30 「親子教室 父の日アレンジメント」  
講師:植物園友の会/定員:親子15組/参加費:1,500円
- 6月19日(木)10:00～11:30 「マツの剪定」  
講師:田中良明(当園職員 樹木医)/定員:15名/参加費:300円
- 6月22日(日)13:30～15:00 「ハーブでホットティータイム」  
講師:難波真寿美(上級ハーブインストラクター)/定員:15名/参加費:600円

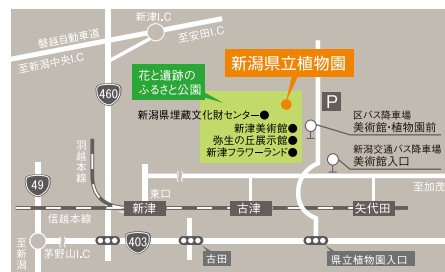
### にいつ花ふるフェスタ

6月1日(日)10:00～16:00  
当日は観賞温室100円デー!

- ミニガーデンコンテスト\*
  - 音楽ステージイベント
  - にいつ食の陣当日座など
- 主催:にいつ花ふるフェスタ実行委員会

### ミニガーデンコンテスト 出展作品募集!

- ★ミニガーデン部門(1m四方)  
賞金:最優秀賞3万円・優秀賞1万円
- ★寄せ植え部門(8～15号鉢)  
賞金:最優秀賞2万円・優秀賞1万円  
その他、特別賞や参加賞あり!



### 新潟県立植物園

〒956-0845 新潟市秋葉区金津186番地  
TEL.0250-24-6465 FAX.0250-24-6410  
Eメール botanical@greenery-niigata.or.jp  
ホームページ http://botanical.greenery-niigata.or.jp/  
指定管理者 国際総合学園・都市緑花センターグループ



新潟県立植物園

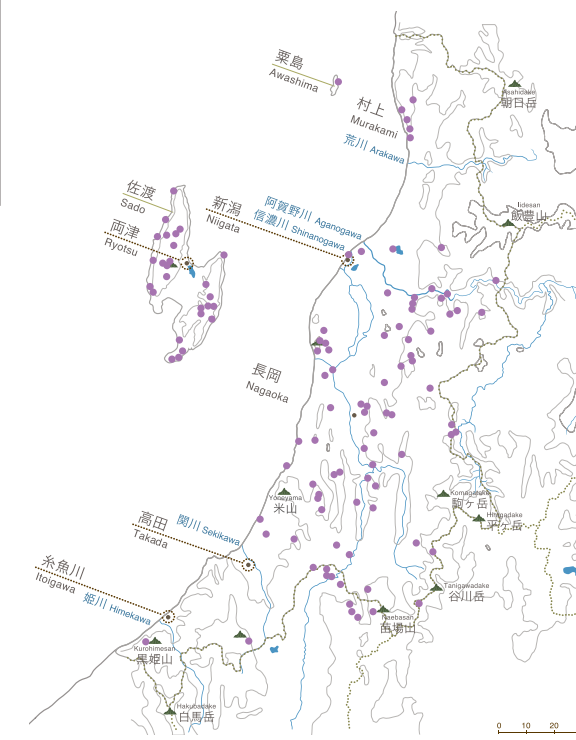
# 植物園だより



## スミレ

*Viola mandshurica*  
(スミレ科)

人家の付近から丘陵地の日当たりのよいところに生える在来の植物。誰もが知っている草なのだが、種数が多くスミレの仲間だけを集めた図鑑が出版されている。草丈が低いと高い草の生えるところには生育できず、草刈がなされる畦畔などで多く見られたが、除草剤が散布されるため数を減らしているようだ。道路と歩道の境や車止めの根元など、他の植物が耐えられないような環境でも育っている。(田中良明)



新潟県植物分布図集 第10集より転載



# シャクナゲ・ツツジ

## 園内ウォッチング

### 観賞温室第2室 企画展示

平成26年4|9(水)ー5|25(日)

春の訪れと共に山野にシャクナゲやツツジの可憐な花を咲かせる季節が新潟にも訪れます。1,000種以上と世界に誇る新潟県立植物園の華やかで貴重なシャクナゲやツツジの園芸品種や野生種のコレクションを公開します。

また、シャクナゲの三大産地である横浜・新潟・三重に注目し、それぞれの歴史や現状、地域間との交流、品種改良についての解説、各地の華やかなオリジナル品種の展示を通し、新潟の園芸産業や当園の収集の背景について、より理解を深めていただきたいと思います。

西洋シャクナゲ、ツツジの園芸品種を中心とした春の花が咲き乱れる至福の雰囲気味わえる必見の展示となりますので、ぜひお越しください。



江戸時代につくられたツツジ花車



『フェアリーアイ』



過去の展示

### 観賞温室第2室 企画展示

平成26年5|28(水)ー7|13(日)

庭や公園に植えられているアジサイも実に多彩ですが、近年、国内外でアジサイの育種がさかんに行われ、新しい品種が多く発表されています。鉢植えのハイドランジアをはじめ、ヤマアジサイ、ノリツギ、北米原産のアジサイなどの品種改良が進んでおり、2~3月に開花する「冬あじさい」(群馬県作出)も登場しました。2013年に開催された国際アジサイ会議の成果をふまえて、最新のアジサイ情報をお届けします。装飾展示では、およそ200品種の当園のコレクションとともに、これまで目にする機会のすくなくった新しい品種を紹介します。アジサイの多様さを感じながら、アジサイをとりまく動きを知ることができる展示です。

# アジサイ展



ヒマラヤ原産のツツジ(Rhododendron formosum)



『ダンスパーティー』

### 【同時開催】

## 絶滅危惧植物展

絶滅のおそれのある植物を保全する世界的な動き、国内の現状、当園をはじめとする全国の植物園の保全活動を紹介いたします。



ヒュウガアジサイ 絶滅危惧II類(環境省)



マルバシマザクラ 絶滅危惧II類(環境省)

## 園内ウォッチング

### 温室●サルオガセモドキ(Tillandsia usneoides)

「これ、何かの根っこですか?」。熱帯植物ドームでお客様から質問を受けることの多い、木にぶら下がった謎の物体。これはサルオガセモドキという、北米南東部からアルゼンチン・チリ原産のティランジア属の多年草で、こう見えてもパイナップル科の仲間です。さらに別名を『おじいさんのヒゲ(oldman's beard)』といいます。ヒゲに見立てたのには何とも親しみが湧いてきます。

サルオガセモドキの根は退化していて、葉から水分や養分を吸収できます。木の種などに着生するエアプランツの一つです。全体が根のように見える正体は、細い葉であり、目立ちませんが淡い緑色の花を咲かせます。自然界では強い風でちぎれて飛んでいき、木の枝などにひっかかって増え、ときには5mもの長さ下垂れ下がります。

その独特の存在感から思わず見入ってしまうサルオガセモドキ。今日も熱帯植物ドームのあちこちで皆様をお待ちしています。(加藤幸子)



サルオガセモドキ



木に下がっているようす



ハクモクレン(Magnolia liliflora)の花



オオヤマレンゲの花 (M. sieboldii ssp. japonica)



軟毛に覆われたコブシの冬芽

コブシ(M. kobus)の果実

### 園地●春を告げる花～モクレン～

早春を彩る花の一つにモクレンの仲間があります。すっと伸びる木一面に白い花を咲かせるハクモクレンや紫色の花を咲かせるシモクレン(モクレン)に春を感じる方も多いのではないでしょうか。これらは中国から渡来した植物ですが、今では大変身近な存在です。

また、野山を散策される方は、春の花としてタムシバやキタコブシ、ホオノキなどに親しみがあると思いますが、これらもモクレンの仲間です。タムシバは少し標高の高い場所に見られますが、ニオイコブシとも呼ばれ、花が甘く香り、葉を揉むと強く香る特徴があります。また、多くはありませんが、県内には花を下向きに咲かせるオオヤマレンゲなども見られます。

モクレンの仲間は果実の形もユニークです。コブシの名は果実の形が人の握り拳に似ていることに由来すると言われますが、その他のモクレンの仲間も、泡を固めたような不思議な形をしています。この果実は熟すと膨らんだ部分が裂け、中から赤い種子が顔を出します。この種子は珠柄(しゅへい)と呼ばれる糸状のもので果実とつながっています。冬芽の形もユニークで、花芽はふかふかの軟毛に覆われたものが多く、冬でも一目で見分けることができます。

このようにモクレンの仲間は特徴の多い植物ですが、これらを含むモクレン科の植物は1億年前の化石が発見されたことから、花を咲かせる植物(顕花植物)の中では非常に古い起源をもつとされ、現在みられる花々の原始の姿を今に伝えています。(久原 泰雅)

当園副園長が執筆にあたった「よくわかる栽培12か月 モクレン、コブシの仲間」が発売中です。詳しくは4ページをご覧ください。





過去の工作教室



講義の様子

## NEWS 1

### 平成26年度 花と緑の教室

当園では、植物の栽培や歴史、おもしろさを伝える「花と緑の教室」を開催しています。これまで「植物と食文化講座」や一般の方も親しみやすい「カフェdeカルチャ」などを行ってきました。平成26年度は、新しい取り組みとして植物園らしい内容と、親子で楽しめる講座を企画しています。

#### ●植物ファンのための植物学講座(全10回)

植物の分類、おもしろいしくみ、不思議な形態やトピックスなどを、専門家によって分かりやすく解説します。

日程:4月、8月を除く毎月第2日曜日 午後1時30分から午後3時(予定)

#### ●親子で楽しむ植物教室

母の日やクリスマスなどの行事に合わせたフラワーアレンジメント、ハロウィンやお正月飾りの工作など、親子で植物に親しむ講座です。番外編で天文教室なども予定しています。

対象:小学生とその保護者

くわしい内容、日程については、植物園だより、植物園ホームページで公開します。それぞれ単独で参加できます(いずれも開催の1か月前から受付)。

## NEWS 2

### 温室内無料エリアに カフェ「happy green cafe」オープン!

4月2日に「happy green cafe」(ハッピーグリーンカフェ)がオープンします。

三条市の人気カフェ「HAPPY LIFE CAFE」の姉妹店です。両方のお店の名前にもある通り、共通のコンセプトは「HAPPY(しあわせ)」。「植物園という緑豊かな癒しの空間の中で、happy green cafeに関わるみなさんがしあわせになれるカフェを目指したい」というオーナーさんの思いが詰まった素敵なカフェです。

メニューは、コーヒー、オーガニックティー、ハーブティーなどドリンクが充実。お食事はトーストやスイーツ、デザートなどの軽食が中心です。テイクアウト可能なメニューもありますので、お天気がよい日にはベンチや芝生の上で軽いランチはいかがですか。

カフェの場所は温室入館券売場すぐ横が入口で入館料が掛かりませんので、ぜひお気軽にご利用ください。



## NEWS 3

### 書籍紹介



平成26年3月に、当園副園長が執筆にあたった「よくわかる栽培12か月 モクレン、コブシの仲間」がNHK出版より発行されました!

モクレンの栽培で質問の多い、剪定方法や、樹高を低くするための仕立て直しには特に力を入れて解説しています。また、これから栽培しようという方には、モクレンのある庭のプランが参考になると思います。是非、ご一読ください。

## NEWS 4

### 園芸植物を守る

サクラソウやツツジ、ボタン、カエデ等々、江戸時代より綿々と続いてきた日本独自の園芸植物は、あるものは生産が続き、または一部は伝統園芸植物として愛好家によって栽培されてきましたが、その多くは失われてしまいました。

生きた文化財ともいえる園芸植物が消えるのは、人類にとって非常に大きな損失と言ってもオーバーではないかもしれません。特に伝統園芸植物は、栽培が難しい種類が多く、保存基盤が個人や愛好会などに限定されていることが多いため、早急に保全の必要があると考えられます。

#### 日本版ナショナルコレクション構想

イギリスで行われているナショナルコレクションは、栽培される野生種や園芸植物を保存、育成、増殖、記録する組織で、民間団体によって運営されています。このシステムを参考にし、絶滅危惧植物を保全してきた実績を活かして園芸植物や薬用植物などの有用植物の保全を行おうというのが、日本植物園協会の日本版ナショナルコレクション構想です。

#### 日本版ナショナルコレクション

イギリスのナショナルコレクションを参考としても、それをそのまま日本でスタート、運用するには数々の問題があり、日本に適した制



度に改める必要があります。そこで日本植物園協会では、昨年度から外部有識者を含めた「ナショナルコレクション構築に関する検討会」を組織し、問題点や短期および中長期的な構想についての検討を行っています。

日本版ナショナルコレクションについては、コレクション保有調査、ネットワークの形成、認定機関やデータベースの構築などの課題も多く、検討もはじまったばかりです。今後、皆様のご協力を仰ぎ、生きた文化財とも言える園芸植物をはじめとする有用植物を守り、後代に伝えて行きたいと考えています。(倉重祐二)

## NEWS 5

### 沖縄へドングリを送りました

海洋博公園を管理している沖縄美ら島財団に勤務する知人より、体験イベントでリースを作る材料として子供たちにも人気のあるドングリを使いたいが、沖縄にはドングリのなる木(ブナ科の樹木)が少ないので送ってくれないか、との話がありました。

同財団には、平成22年度に当園で開催した「ビックリ!世界のタネ展」で、世界最大の種子であるオオミヤシ(*Lodoicea maldivica*)や「ライオン殺し」とも呼ばれるウンカリナ・ステルリフェラ(*Uncarina stellulifera*)などの珍しいタネを沢山お借りした他、様々な展示にご協力いただいています。そのようなこともあり、コナラやシラカシ、アベマキ、ナラガシワなどのドングリを園内や周辺で集め、お送りしました。

これらのドングリは、海洋博公園にある熱帯ドリームセンターの体験イベント「バニラビーンズで'香る'クリスマスリース作り」の素材として利用いただき、子どもたちに大変喜ばれたとのこと。バニラビーンズでリースとは、南国沖縄ならではのリースですね! 甘いクリスマスが送れそうです!

当園は全国110園が加盟する(公社)日本植物園協会に加盟し、普段から様々な情報交換や保全活動などを行っています。今後も他園と協力しながらより良い展示や収集を行いたいと考えています。(久原泰雄)



バニラビーンズをつかった'香る'クリスマスリース



リースづくりに参加する園児(海洋博公園)





## 新潟の植物 スイバ *Rumex acetosa*



野原、河川敷、人家の近くにも多い在来の多年草。雌雄異株で茎を伸ばし、花を付けると1mほどになります。園内のスイバの仲間は、在来種のスイバ、エゾノギシギシ、帰化植物のヒメスイバ、ナガバギシギシ、アレチギシギシの5種が確認できています。大きさが全く異なるヒメスイバを除くと、春先は同じような姿ですが、注意深く観察すると葉の形が異なっています。スイバは葉先が尖り葉の基部が矢じり型で葉の表面がつるりとしており、エゾノギシギシは葉巾が広く葉先が丸くなります。ナガバギシギシの葉はスイバに似ていますが葉の縁が波打ち、アレチギシギシは幅が狭く長細い葉です。ただ、花をつけるころに出す葉はいずれも細くなり判別し難くなるので、種子が育つのを待ちます。花のあと花破片が翼状に成長した種子をつくり、どの種も個性的な形なので容易に判別できます。

春先にスイバを確かめたいなら葉をかじることです。噛み初めは青臭く、そのうち葉に含まれるシュウ酸によって口の中に酸味が広がります。  
(田中良明)

## 趣味の園芸セレクション ヒスイカズラの果実



ヒスイカズラの花



ふくらみ始めた果実



今年(2010年)は当園ではじめてヒスイカズラが結実しました。自分は全く交配しておりませんが、以下は熱帯植物ドーム担当のHに聞いた話です。

「今年は何個交配したの」、「300花くらいです」  
「それで2つか」、「途中で落ちちゃうんですね」  
以下面倒なので普通に書きます。

今年は3月下旬から5月下旬にヒスイカズラが開花しました。翡翠色のフジを大きくしたような花は大変魅力的です。

4月18日から6月8日まで300花以上に交配したところ、2花が結実し、現在長径が17cmにまで育ちました(写真右)。その他にも十数花が受精したようですが、受粉後2週間(写真中央)で落果してしまいました。

120日で成熟するので、9月下旬にはタネがとれるはずですが、ちょうど触りたいような高さにあるようで、昨日も見ているお客様が時計の振り子のようにプーラプーラさせていました。落

ちないことを祈っています。

ヒスイカズラの柱頭にはドーム状のキャップがあり、そのまま交配しても花粉が発芽しません。このため、指で雌しべの先を軽くこすってキャップを取り除いてから交配します。花粉を運ぶコウモリが蜜を吸うと竜骨弁の先から雌しべと雄しべが一緒にニユルッと出るので、この時に自家受粉しないため仕組みだと考えられます。

筑波実験植物園の小西元園長の論文では、1花序(花房)に最大で2果が結実、トータルの結実率は0.95%であったことが報告されています。この低い数値はヒスイカズラが基本的には他家受粉であることを意味しているのではないかと思います。もし、タネができれば新しい形質を持った株が出るかもしれませんが、株間で交配すれば結実率も上がると思います。

ヒスイカズラは全国各地の植物園で栽培されていますが、花を見るとどうもほとんどが一個体から栄養繁殖された株のように思われます。そうだとすれば、植物園間で花粉を交換して交配しても結実は望めません。  
(倉重祐二)

※みんなの趣味の園芸サイト内 園芸日記2010年8月21日の記事です。本文中の日付は当時のものです。

## 友の会通信

夏の植物観察会(長野県八方尾根)



バイカモ(長野県姫川源流にて)



## 友の会発足10年! 平成26年度総会開催

友の会は平成26年3月で発足から満10年を迎えました。今後もさらなる発展をめざしていきたいと考えております。

平成26年度の事業計画について話し合う総会を下記日程で開催いたします。また、役員である高橋務さんより「植物とつきあって～早春の植物を中心に」と題した講演をいただきます。多くの会員のみなさまのご参加をお待ちしております。

●日時:平成26年4月20日(日)午後1時30分から

●会場:新潟県立植物園 花と緑の情報センター 研修室

※参加いただける方は、友の会事務局(TEL.0250-24-6465)までお申し込みください。

## 今年度の活動(予定)

●4月20日(日)……………平成26年度役員会・総会

●5月上旬、9月中旬……植物園まつり

●5月18日(日)……………春の植物観察会(村上方面)

●7月下旬……………夏の植物観察会(長野県)

●10月……………秋の植物観察会(行先未定)

●12月……………植物園クリスマス展装飾  
クリスマス交流会

●2月……………友の会展示(観賞温室第3室にて)

このほか、植物園との共催教室、月1回の打ち合わせ、植物園内や周辺の植物観察会を行う予定です。詳細は会員へのおたよりでお知らせしますので、各行事ともふるってご参加ください。



植物園まつり  
体験教室



クリスマス展装飾

新潟県立植物園友の会ブログを開設しています。会の最新情報、会員のつぶやき、発見などをどんどん更新していきます。ぜひ、ご覧下さい。情報はE-mail:bgn.tomonokai@gmail.comまで。

ブログURL [http://blogs.yahoo.co.jp/bgn\\_tomonokai](http://blogs.yahoo.co.jp/bgn_tomonokai)

賛助会員〈わたし達は「新潟県立植物園 友の会」の活動を応援しています〉 ●有限会社齋藤不動産